2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年８月14日

上 場 会 社 名　　株式会社エス・サイエンス　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5721　　URL http://www.s-science.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）久永　賢剛
問合せ先責任者　（役職名）総　務　部　長　（氏名）甲佐　邦彦　TEL　03-3573-3721

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第１四半期の業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	159	―	△102	―	△102	―	△103	―
2025年３月期第１四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	△0.73	―
2025年３月期第１四半期	―	―

（注）当社は、2025年３月期第２四半期までは連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より非連結での業績を開示しております。そのため2025年３月期第１四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率、2026年３月期第１四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第１四半期	2,932	2,767	94.39
2025年３月期	3,006	2,871	94.49

（参考）自己資本　2026年３月期第１四半期　2,767百万円　　2025年３月期　2,871百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年３月期	―				
2026年３月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年３月期の業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

206年３月期の業績予想については、現時点で合理的に算定する未確定な要素が多いため、記載しておりません。当該業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	141,593,749株	2025年３月期	141,593,749株
②　期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	2,338株	2025年３月期	2,167株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	141,591,478株	2025年３月期１Ｑ	141,591,582株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（会計方針の変更） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により景気は緩やかに回復しております。しかしながら、金利上昇のリスクに加え、物価上昇の継続や米国の通商政策による影響が、景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状態が継続しています。

このような状況の下、当第１四半期累計期間の当社の業績につきましては、売上高１億59百万円、営業損失１億２百万円、経常損失１億２百万円、四半期純損失１億３百万円となりました。

なお、前第３四半期会計期間より非連結決算に移行したため、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、比較分析は行なっておりません。

セグメント業績は次のとおりであります。

また、第３四半期会計期間より非連結決算に移行したことから、セグメント別の業績について、前事業年度との比較は行なっておりません。

(ニッケル事業)

ＬＭＥ価格と販売数量が下落したことにより、売上高は１億56百万円となりました。

(不動産事業)

賃貸料収入のみであったため、売上高は２百万円となりました。

(教育事業)

売上はありませんでした。

(スマートＤＸソリューション事業)

売上はありませんでした。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第１四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ74百万円減少し、28億38百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べほぼ変わらず94百万円となりました。

(負債)

当第１四半期会計期間末の負債につきましては、流動負債は前事業年度末に比べ23百万円増加し、57百万円となりました。これは主に未払金等の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ５百万円増加し、１億７百万円となりました。これは主に退職給付引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第１四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ１億３百万円減少し、27億67百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少等によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年５月14日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

現時点で合理的に算定する未確定な要素が多いため開示していません。

合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

前事業年度においては営業損失やマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しており、当第１四半期累計期間においても営業損失の状態が続いておりますので、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。しかしながら、この状況を改善するために2023年３月期に資金調達を行ない、前々期2024年３月期において有価証券運用益で大きな利益をあげ、資金調達が充分できたこと等により不確実性は認められません。

そのため、継続企業の前提に関する注記の必要は無いものと判断しております。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2025年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,761,709	1,715,488
預け金	418,794	418,794
受取手形	21,047	20,452
売掛金	92,815	89,095
電子記録債権	48,395	55,535
販売用不動産	351,071	351,071
商品	210,231	178,868
前払費用	3,361	3,361
未収入金	500	490
未収還付法人税等	8	11
未収消費税等	83	1,734
その他	4,590	3,174
貸倒引当金	△38	△38
流動資産合計	2,912,570	2,838,043
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,377	1,333
出資金	900	900
敷金及び保証金	62,785	62,785
長期貸付金	2,400	2,400
会員権	19,308	19,308
長期未収入金	31,812	31,812
その他	12,870	13,249
貸倒引当金	△37,412	△37,412
投資その他の資産合計	94,041	94,376
固定資産合計	94,041	94,376
資産合計	3,006,612	2,932,419
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,868	8,629
未払金	9,367	20,166
未払費用	3,252	3,067
未払法人税等	5,055	1,107
前受金	－	10,000
前受収益	387	4,821
預り金	2,256	2,490
賞与引当金	4,090	6,798
流動負債合計	33,277	57,080
固定負債		
退職給付引当金	13,885	17,710
役員退職慰労引当金	86,310	87,677
受入敷金保証金	1,800	1,800
繰延税金負債	332	317
固定負債合計	102,327	107,504
負債合計	135,605	164,585

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年３月31日)	当第１四半期会計期間 (2025年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	2,597,570	2,597,570
資本剰余金合計	2,597,570	2,597,570
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	172,924	69,797
利益剰余金合計	172,924	69,797
自己株式	△94	△111
株主資本合計	2,870,400	2,767,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	578
評価・換算差額等合計	606	578
純資産合計	2,871,007	2,767,834
負債純資産合計	3,006,612	2,932,419

(２) 四半期損益計算書

第１四半期累計期間

(単位：千円)

	当第１四半期累計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年６月30日)
売上高	159,071
売上原価	144,987
売上総利益	14,084
販売費及び一般管理費	116,166
営業損失（△）	△102,082
営業外収益	
受取利息及び配当金	22
受取賃貸料	40
その他	0
営業外収益合計	63
営業外費用	
その他	0
営業外費用合計	0
経常損失（△）	△102,019
税引前四半期純損失（△）	△102,019
法人税、住民税及び事業税	1,107
法人税等合計	1,107
四半期純損失（△）	△103,126

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　当第１四半期累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計
	ニッケル事業	不動産事業	教育事業	スマートＤＸソリューション事業		
売上高						
外部顧客への売上高	156,537	2,534	―	―	―	159,071
計	156,537	2,534	―	―	―	159,071
セグメント利益又は損失(△)	2,673	△4,950	△3,091	△7,743	―	△13,111

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利　益	金額
報告セグメント計	△13,111
全社費用(注)	△88,971
四半期損益計算書の営業損失(△)	△102,082

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社のセグメントは、「ニッケル事業」、「不動産事業」、「教育事業」、「その他」の４つに区分しておりましたが、2024年８月に新規事業として「スマートＤＸソリューション事業」を立ち上げたことで、これを加えた５つのセグメントに変更することといたしました。なお、前第１四半期連結累計期間において報告セグメントに含まれていた「リフォーム関連事業」は、2024年10月から「リフォーム関連事業」を運営している関係会社である株式会社なごみ設計の全株式を、株式会社エルアイイーエイチに売却したことにより無くなりました。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	当第１四半期累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	―千円